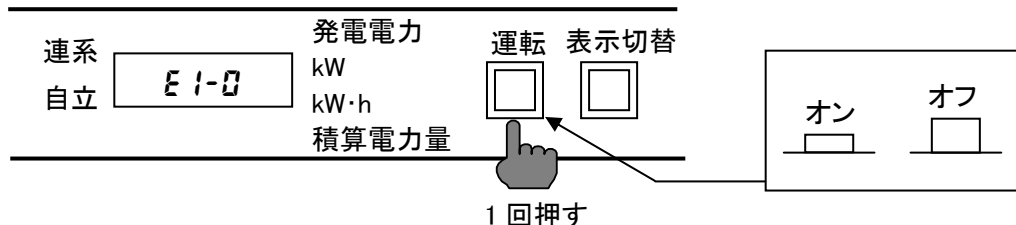


2-3 連系運転モードから自立運転モードへの切替方法(停電時)

自立運転とは、停電などにより電力会社から電力が供給停止された場合、太陽電池が発電した電力を AC100V で最大 15A(本体側、専用口の合計が 1.5kVA) 供給します。

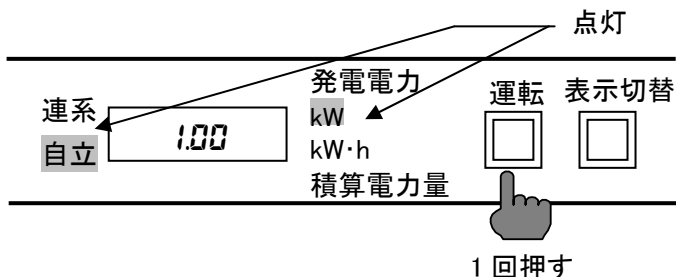
- ①太陽光発電用ブレーカを‘オフ’にしてください。
- ②運転スイッチを‘オフ’にしてください。

表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。
太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



- ③運転スイッチを‘オン’にしてください。

数秒後に自立ランプが点灯し、自立運転を開始します。



- ④自立運転を停止させる場合は、運転スイッチを‘オフ’にしてください。

- 自立運転モード時、表示部には停電用コンセントに接続した機器の消費電力を表示します。
停電用コンセントに何も接続していない場合、表示部には「0.00」を表示します。
- 翌朝に停電が回復していない場合、運転スイッチを‘オン’から‘オフ’にし、再度‘オン’にすると自立運転を開始します。

⚠ 警告

停電用コンセントから供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。
接続に際しては突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。
次の機器を停電用コンセントに接続しないでください。

- ・すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器
- ・パソコン、ワープロなどの情報機器
- ・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器

停電用コンセントの電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器に機能障害が稀に起こる恐れがあります。



自立運転する前に必ず太陽光発電ブレーカを OFF してください。
万が一の場合、感電による障害や火災が起こる恐れがあります。



重要

(1)太陽電池が発電していないときは、自立運転モードで運転できません。

(2)停電用コンセントに使用したい機器を接続してください。

また、接続する機器の最大電力は 1.5kVA 以内(AC100V 最大 15A 以内)になるようにしてください。

(3)掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。

●保護機能が働き停止した場合

- ① 運転スイッチを‘オフ’にしてください。
- ② 停電用コンセントに接続している電気製品を減らしてください。
- ③ 運転スイッチを再度‘オン’にしてください。

(4)夜間、または天候による変化で太陽電池の発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。

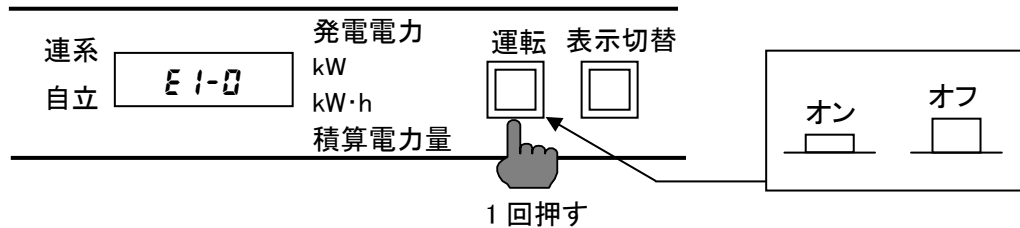
自立運転を再開させる場合は、運転スイッチを‘オン’から‘オフ’にし、再度‘オン’にしてください。

2-4 自立運転モードから連系運転モードへの切替方法(復電時)

①運転スイッチを‘オフ’にしてください。

表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。

太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



②太陽光発電用ブレーカを‘オン’にしてください。

③運転スイッチを‘オン’にしてください。

カウントダウン終了後に連系ランプが点灯し、連系運転を開始します。

